

授業科目	社会学と社会システム				単位	2		
履 修	選択	関連資格	社会福祉士 精神保健福祉士 保育士		ナンバリング	WE21203J		
開講年次	1	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP2-1 DP2-2			
担当教員	杉谷 修一							
授業概要	<p>社会的存在としての個人が組織や制度のような複雑な姿とどのように結びつくのか。ミクロな視点とマクロな視点を方法論として理解することが社会学の学習には不可欠である。また現代社会の抱える多様な問題について知ると同時に、様々な角度から分析する手法を学ぶ。</p> <p>社会を理解するために歴史的な視点(特に社会学成立期の近代社会の変動)、比較文化の視点(地域や文化が異なる対象を比較する)、生活者としての個人の視点(自分自身の日常を対象として意識化する)などを重点的に社会学の基礎を学ぶ。この授業は遠隔授業として実施する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1.現代社会の特性を理解することができる。</p> <p>2.生活の多様性について理解することができる。</p> <p>3.人と社会の関係について理解することができる。</p> <p>4.社会問題とその背景について理解することができる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	80						80	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	10						10	
思考・判断 (DP2-2)	10						10	
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<p>1.社会システム論の観点から、現代社会の特性を十分に理解することができる。</p> <p>2.代表的な社会学理論に基づき、生活の多様性について十分に理解することができる。</p> <p>3.代表的な社会学理論に基づき、人と社会の関係について十分に理解することができる。</p> <p>4.社会問題とその背景について十分に理解することができる。</p>				<p>1.社会システム論の観点から、現代社会の特性を基本的に理解することができる。</p> <p>2.代表的な社会学理論に基づき、生活の多様性について基本的に理解することができる。</p> <p>3.代表的な社会学理論に基づき、人と社会の関係について基本的に理解することができる。</p> <p>4.社会問題とその背景について基本的に理解することができる。</p>				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:社会学とは何か 社会学独自の視点と成立期の背景について学ぶ	講義	学習内容の定着を図る。	60
2	テーマ:社会システムの考え方 システム論の観点から社会を捉えるための基礎を学ぶ。	講義	学習内容の定着を図る。	60
3	テーマ:集団と組織 社会システムの具体的な単位である集団と組織について、特色や違いに注目しながら学ぶ。	講義	学習内容の定着を図る。	60
4	テーマ:人口問題 現代社会の人口問題およびそれと関連するグローバルイゼーションについて学ぶ。	講義	学習内容の定着を図る。	60
5	テーマ:社会変動 社会のマクロな課題である社会変動の特徴と現代的な課題について学ぶ。	講義	学習内容の定着を図る。	60
6	テーマ:地域 個人と社会の関わりにおいて最も基本的単位である地域を取り上げ、代表的理論や現代的課題について学ぶ。	講義	学習内容の定着を図る。	60
7	テーマ:社会的格差 経済的格差だけでなく教育・雇用・健康など人びとの生活のあらゆる側面で問題となっている格差について学ぶ。	講義	学習内容の定着を図る。	60
8	テーマ:産業社会 近代社会の特徴のひとつである産業化とそれが引き起こす問題について学ぶ。	講義	学習内容の定着を図る。	60
9	テーマ:差別と偏見 あらゆる地域や文化の中に存在しつづける差別とその根底にある偏見をどのように理解するのか、社会学的観点から学ぶ。	講義	学習内容の定着を図る。	60
10	テーマ:家族とジェンダー 近代家族論からジェンダー論まで社会学の代表的理論と現代における課題について学ぶ。	講義	学習内容の定着を図る。	60
11	テーマ:世代 ライフサイクル、ライフステージ、ライフコースなど世代論の基礎を学ぶ。	講義	学習内容の定着を図る。	60
12	テーマ:自己論と相互作用論 社会学における自己論および他者との社会的相互作用に関する代表的理論を学ぶ。	講義	学習内容の定着を図る。	60
13	テーマ:社会化 個人と社会の接合の具体的な場面である社会化について、代表的理論と現代における課題を学ぶ。	講義	学習内容の定着を図る。	60
14	テーマ:社会的役割 社会的役割に関する理論について解説し、ミクロ社会学とマクロ社会学の関連を学ぶ。	講義	学習内容の定着を図る。	60
15	テーマ:まとめ これまでの講義内容を振り返り、重要なポイントをまとめる。	講義	学習内容の定着を図る。	60
16				
17				

18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	社会学は抽象的な理解や操作を必要とすることが多いため、テキストや講義内容の理解を深めるための語彙力が求められる。また近代、特に西洋近代社会の成立に関連する歴史的知識などがあることが望ましい。			
テキスト	日本ソーシャルワーク教育学校連盟編 『最新 社会福祉士・精神保健福祉士養成講座 3 社会学と社会システム』 中央法規			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	岸政彦『断片的なものの社会学』朝日出版社 田中正人、香月孝史『社会学用語図巻 人物と用語でたどる社会学の全体像』プレジデント社			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	身近な問題やニュースを授業で学んだ視点や用語でとらえ直しみて欲しい。概念は暗記するのではなく、実際に使うことによって理解が深まる。 授業ではテキスト以外に資料提示を行い、適宜復習テストをクラスルームに掲示するので、それらを上手く活用して学習を進めて欲しい。			
達成度評価に関するコメント	基礎的用語の暗記だけでなく、概念の特徴や使い方など、より応用的・実践的な理解までバランスよく出題する。試験内容は授業中に指示する。			

